

現在の流山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

現在の計画

第4期流山市地球温暖化対策実行計画ストップ温暖化！流山プラン ※2023年2月1日付策定

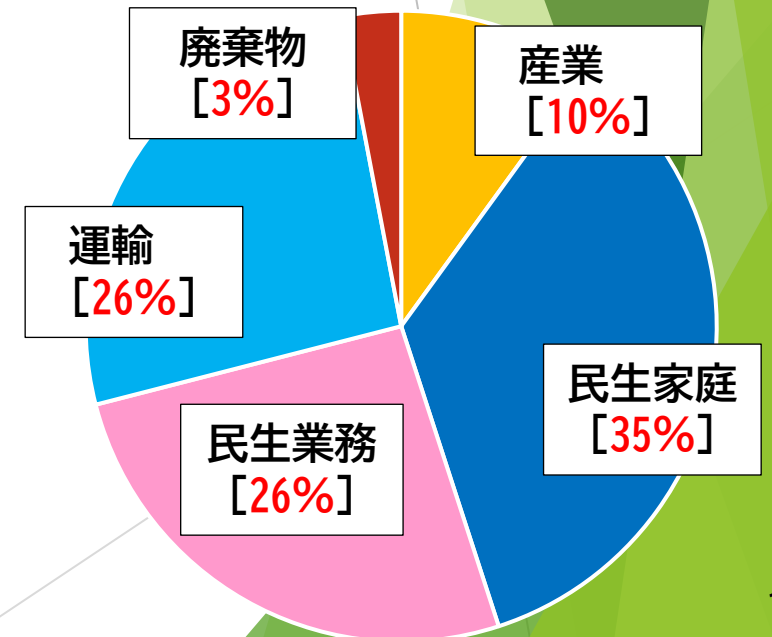
計画期間・基準年度

- ・計画期間 2023年度～2030年度
- ・基準年度 2013年度

削減目標

- ・中期目標
2030年度の二酸化炭素排出量を2013年度比46%削減すること
- ・長期目標
2050年度の二酸化炭素排出量を実質ゼロ（※）とすること
※二酸化炭素排出量から植樹や森林等の吸収量を差し引き、
実質ゼロにするもの

市域の二酸化炭素排出量内訳 ※R5



現在の流山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

取組・施策

重点施策①

市民・事業者との協働による省エネルギー生活への転換の推進 2030年度削減量140.7千t-CO₂
例) HEMSやZEHの推進、機器の導入や効率的な利用 等

重点施策② 再生可能エネルギーの活用 2030年度削減量29.3千t-CO₂

例) 太陽光発電設備の導入、再生可能エネルギー由来の電力への切り替え 等

重点施策③ 環境負荷の大きい自動車からの転換 2030年度削減量54.5千t-CO₂

例) EVの導入、エコドライブやテレワークの利用 等

重点施策④ 廃棄物の発生抑制と資源循環 2030年度削減量9.9千t-CO₂

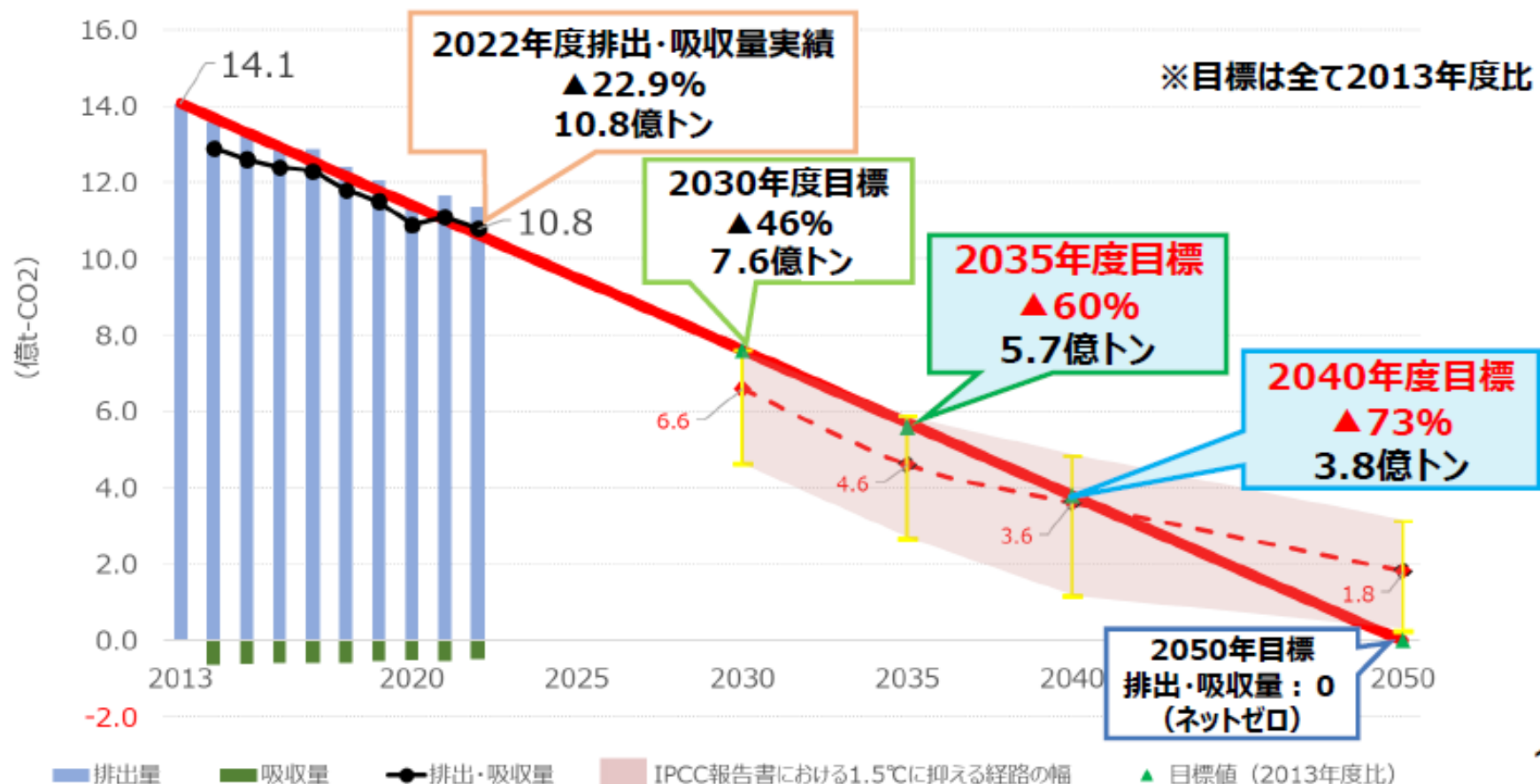
例) 廃棄物の減量、リサイクル 等

重点施策⑤ 緑地保全と都市緑化による二酸化炭素吸収源対策 2030年度吸収量2.3千t-CO₂

例) 樹木の保全、創出 等

次期削減目標 (NDC)

- 我が国は、**2030年度目標と2050年ネット・ゼロを結ぶ直線的な経路を、弛まず着実に歩いていく。**
- 次期NDCについては、**1.5℃目標に整合的で野心的な目標**として、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ**60%、73%削減**することを目指す。
- これにより、中長期的な**予見可能性**を高め、**脱炭素と経済成長の同時実現**に向け、**GX投資を加速**していく。



次期NDC達成に向け地球温暖化対策計画に位置付ける主な対策・施策

- 次期NDC 達成に向け、**エネルギー基本計画及びGX2040ビジョンと一体的**に、主に次の対策・施策を実施。
- 対策・施策については、**フォローアップの実施を通じて、不断に具体化を進めるとともに、柔軟な見直し**を図る。

《エネルギー転換》

- **再エネ、原子力**などの**脱炭素効果の高い電源**を最大限活用
- トランジション手段として**LNG火力**を活用するとともに、水素・アンモニア、CCUS等を活用した**火力の脱炭素化**を進め、**非効率な石炭火力のフェードアウト**を促進
- 脱炭素化が難しい分野において**水素等、CCUS**の活用

《産業・業務・運輸等》

- 工場等での**先端設備**への更新支援、**中小企業**の省エネ支援
- 電力需要増が見込まれる中、**半導体の省エネ性能向上、光電融合**など最先端技術の開発・活用、**データセンターの効率改善**
- 自動車分野における製造から廃棄までの**ライフサイクル**を通じたCO₂排出削減、**物流**分野の脱炭素化、**航空・海運**分野での次世代燃料の活用

《地域・暮らし》

- **地方創生に資する地域脱炭素**の加速
→2030年度までに100以上の「**脱炭素先行地域**」を創出等
- 省エネ住宅や食品ロス削減など**脱炭素型の暮らしへの転換**
- **高断熱窓、高効率給湯器、電動商用車やペロブスカイト太陽電池**等の導入支援や、国や自治体の庁舎等への率先導入による**需要創出**
- **Scope3**排出量の算定方法の整備など**バリューチェーン全体の脱炭素化**の促進

《横断的取組》

- 「**成長志向型カーボンプライシング**」の実現・実行
- **循環経済（サーキュラーエコノミー）**への移行
→再資源化事業等高度化法に基づく取組促進、「**廃棄物処理×CCU**」の早期実装、**太陽光パネルのリサイクル**促進等
- **森林、ブルーカーボンその他の吸収源確保**に関する取組
- 日本の技術を活用した、**世界の排出削減への貢献**
→**アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）**の枠組み等を基礎として、**JCM**や**都市間連携**等の協力を拡大

流山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定に向けて

今後整理すること

■改定スケジュール

令和8年度から令和9年度までの2年間

■現計画の評価・現状分析（評価・検証）

既存計画の達成度や効果を評価

国や県の関連方針や社会動向、人口推計などのデータを収集・整理等

環境省の支援システム、ツール（LAPSS、部門別CO2排出量の現況推計、運輸部門（自動車）CO2排出量推計データ、自治体排出量カルテ、「区域施策編」目標設定・進捗管理支援ツール、地域経済循環分析等）



改定方針、削減目標、取り組みの検討へ

・国の地球温暖化対策計画を考慮しつつも、流山市の目標設定をどこにおくか